

2027 年度

総合型選抜要項

学芸学部 多文化・国際協力学科



津田塾大学

TSUDA UNIVERSITY

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

津田塾大学が求める学生および津田塾大学の理念

津田塾大学は、深い知性と豊かな人間性を兼ね備え、自立して社会に貢献できる「オールラウンドな女性」の育成を目指しています。創立以来、幅広く確かな教養に裏打ちされた知見と実践力をもって、リーダーシップを発揮できる女性を輩出してきました。本学では、このような建学の理念に共感し、世界のさまざまな問題に関心を持ち、主体的に学ぼうとするバイタリティ溢れる学生を求めています。

学芸学部

学芸学部が求めているのは、さまざまな問題に取り組むために必要な知識と思考力を持ち、自分の考えを自分の言葉で的確に表現できる創造性に富む学生です。

学芸学部では、人間としてより自由に生きるための学問、学生一人ひとりの個性と自主性の尊重をその教育理念の根幹に据えています。男女共同参画が求められる時代において、多様でグローバルな課題に対してイニシアティブを発揮しつつ、地域社会と国際社会の双方で貢献できる女性を求めます。

多文化・国際協力学科

多文化・国際協力学科では、新しい局面を迎えた国内外のさまざまな問題に対し、現状分析を踏まえ、当事者意識と強い責任感をもった「真の貢献」ができる女性の育成を目指しています。社会構造や文化の違いが引き起こしている問題、国際協力・国際援助が抱える問題等、現代社会において解決すべき問題は多種多様です。これらの問題に対し、1年次の基礎セミナーを経て、2年次からのフィールドワークや密度の濃い3年間のセミナー活動をとおして培われた高度の専門知識と分析力を駆使しながら、よりよい「共生型」社会の実現に向けての新しいアプローチを提案できるようになることを重視し、そのような力を伸ばしたい学生を求めています。

<知識・理解>

世界の現場で起きていることへの理解の基礎となる「世界史」、歴史を踏まえたフィールド理解のための「日本史」、論理的な力をつけるための「数学」などの十分な理解が重要となります。

<技能・表現>

様々な問題に対処するために、的確にそして深く読み、自らの言葉で書き、表現し、対話するために「国語」の力は必須です。津田塾の伝統ある高レベルの英語教育を受けていくためには、高校までにしっかり基礎の「英語」力をつけておくことが重要です。

<関心・意欲・態度>

「それぞれの場でどのようにあるべきか」という当事者意識と責任感の強さを持ち、変革を担うことに意欲があること、本を読む習慣が身についていること、深く思考する態度、異なる経験への開かれた態度などが望まれます。

<思考・判断>

現代社会に創起するさまざまな問題、日々の共同生活における多くの課題、それらに対処するための判断は、的確で、早くなされる必要があることが多いでしょう。その場その場の判断が的確であるために、鍛えられるべきは、平素からの深く考える習慣と、自らの心身の状態の客観的な観察です。多文化・国際協力学科では、この的確な判断と深い思考を目指す人を求めます。

総合型選抜について

—探究する力、「現場」から学ぶ力、学びを「他者」と育む力—

津田塾大学は、1900年に「女子英学塾」として創立以来、少人数の地道な教育を続け、社会で活躍したいと願う女性に学びの場を提供してきました。在学生の満足度が高く、多くの卒業生が本学での学びを土台に国内外で活躍しています。

2019年に設置された多文化・国際協力量科は、新しい局面を迎えた国内外のさまざまな問題に対し、現状分析を踏まえ、当事者意識と強い責任感をもった「真の貢献」ができる女性の育成を目指しています。そのために、国内外で起きている様々な事象を結びつけて考えることのできる幅広い視野と知識をもとに独自の問いを設定して答えを探究する力、フィールドワークを通して「現場」から得られた経験と理解にもとづき既存の知を問いなおす力、学びの過程や成果を自分のためだけでなく、「他者」との対話や議論などを通して分かち合い深めていく力を培うことを重視しています。このような力を身につけた多文化・国際協力量科の卒業生は、すでに様々な企業や団体及び進学先の教育機関にて活躍を始めています。

総合型選抜は、多文化・国際協力量科の特長に魅力を感じ、また自分自身のそうした能力を磨きたいと思う受験者を求めています。

私たちはこの入学試験において、以下の力について問います。

- ① 幅広い視野と知識から独自の問いを設定し、その答えを探究する力
- ② 「現場」から得られた経験と理解にもとづき、既存の知を問いなおす力
- ③ 学びを「他者」と分かち合い深めていく力

成績や偏差値といった指標だけでは評価できない、社会に新たな能力のあり方を提起するような資質を備えた学生の入学を期待しています。

入試日程

出願期間	2026年9月1日(火)～9月16日(水) (必着)	入学検定料を振り込み、出願書類を郵送してください。 提出書類による選考を行います。
第1次選考(書類選考) 結果発表	2026年10月3日(土)	郵送で通知します。
第2次選考 試験日	2026年10月31日(土)	試験会場は本学(小平キャンパス)です。
合格発表日	2026年11月6日(金)	郵送(速達)で通知します。 合格者には入学手続書類を同封します。
入学手続締切日	2026年11月20日(金) (消印有効)	締切日までに入学申込金(入学金相当額)、 学費その他の納入金を納入し、入学手続書類を提出してください。

総合型選抜要項

募集人員

学芸学部多文化・国際協力量科 5名

出願資格

次の条件1及び2に該当する女子

1. 津田塾大学学芸学部多文化・国際協力量科への進学を第一志望とし、合格した場合は入学を確約できる者（入学後に同学部他学科への転科ならびに他学部他学科への転部転科は認められません）
2. 次の①～③のいずれかに該当する者
 - ①高等学校または中等教育学校を卒業した者及び2027年3月卒業見込みの者
 - ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び2027年3月修了見込みの者
 - ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び2027年3月31日までにこれに該当する見込みの者

【第1次選考（書類選考）】

出願期間

2026年9月1日(火)～9月16日(水) (必着)

受験上特別な配慮が必要な場合について

受験に際し、病気・負傷や障害等のために、配慮を希望する場合は、出願期間の前にできるだけ早く本学入試課に連絡してください。（ご希望の全てに対応できるとは限りませんので、ご了承ください。）

出願方法

出願書類の本学所定用紙を本学公式 Web サイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) からダウンロードし、すべてA4サイズで片面印刷してください。

ダウンロードができない場合は、本学入試課(Tel. 042-342-5120)に連絡してください。

【出願用封筒表紙】をA4用紙にカラー印刷したものを市販の角形2号封筒に貼付のうえ、出願書類をすべて入れ、「簡易書留・速達」で郵送してください。出願書類以外のものは、同封しないください。提出は郵送に限ります。大学窓口での受付は行いません。

出願書類

- ・ 出願書類は黒のボールペンで記入してください。消せるボールペンは使用しないでください。
- ・ 出願書類はすべて紙媒体で発行された原本を提出してください。（英語の能力を証明する書類については、pp. 5-6「※④英語の能力を証明する書類について」を参照。）原本と指定されている出願書類を写しで提出することを希望する場合には、出願前に本学にて原本証明を受ける必要があります。原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。
- ・ 出願書類のうち日本語、英語以外の言語で記載されたものは公的機関（高等学校、大使館等）の証明を受けた日本語訳または英語訳を添付してください。日本語学校による翻訳の証明は認めません。
- ・ 一度提出された書類は返却しません。

①志願票【様式1】	<ul style="list-style-type: none"> ・縦4cm×横3cmの写真（無帽・上半身・正面、試験日前3ヶ月以内に撮影したもの。加工を施した写真やスナップ写真は不可。写真の裏面に氏名を記入）を所定の欄に貼付してください。 ・志願票に記入された住所に、受験票や合否結果等の書類を送付しますので、正確に記入してください。（国内の住所に限ります。） ・銀行の収納印が押されていることを確認してください。 ・志願票に記入するE-mailアドレスのメール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあるため、@tsuda.ac.jp、@gm.tsuda.ac.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
②調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・厳封されたものを提出してください。 ・調査書の発行ができない場合は成績証明書及び卒業証明書を提出してください。 ・高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者は合格（見込）成績証明書を提出してください。
③志望理由書【様式2】	<p>本学学芸学部多文化・国際協力学科志望動機について「大学でフィールドワークによって探究したい研究テーマ」を含めて2000字以内で書いてください。 ※PC（パーソナルコンピュータ）等を使用することが望ましい。 文字の大きさを10～12ポイントとして、A4用紙2枚までに出力してください。</p>
④英語の能力を証明する書類	<p>以下の表「※④英語の能力を証明する書類について」を参照し、いずれか1つ以上を提出してください。</p>
⑤出願書類チェックリスト【様式3】	<p>提出する書類等の提出チェック欄に○印をつけて提出してください。</p>

※④英語の能力を証明する書類について

以下の表を確認のうえ、所定の書類を提出してください。

なお、実用英語技能検定（英検）以外の試験においては、2024年4月1日以降に受験したもののみ有効です。実施機関から本学に直送する場合は、十分に余裕をもって手続をしてください。

英語の能力を証明する書類は、原本または原本の正しい複製であることが出身学校によって証明されたものをご提出ください。本学による原本証明を希望する場合は、本学入試課にお問い合わせください。志願者本人による証明書等のコピーの提出は認められません。

※「原本から正しく複製されたものであることが出身学校によって証明されたもの」を作成する際は、出身学校の教員が証明書の原本であることを確認してコピーを取り、そのコピーの余白に「原本と異なることを証明する」旨の文言を記載したうえで、出身学校の印、または学校長の印を押印してください。

試験名称	提出書類と提出方法
TOEFL iBT (*1)	<p>以下のいずれかの方法で成績証明書を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付（TOEFLの大学コード0371） ・成績証明書を出願書類に同封
TOEIC (L&R および S&W) (*2)	<p>公式認定証を出願書類に同封してください。</p>
IELTS (*3)	<p>以下のいずれかの方法で成績証明書を提出してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成績証明書をテスト機関から直接本学入試課に送付 ・成績証明書を出願書類に同封
GTEC (*4)	<p>成績証明書を出願書類に同封してください。</p>
TEAP (4技能)	<p>成績証明書を出願書類に同封してください。</p>
実用英語技能検定（英検）(*5)	<p>合格証明書、合格証書、CSE スコア証明書、個人成績表(*6)のいずれか（4技能のCSEスコアが表示されたもの）を出願書類に同封してください。</p>

- (*1) TOEFL iBT は Test Date スコアのみを活用します。MyBest スコアは活用しません。
TOEFL iBT Home Edition を含みます。
- (*2) TOEIC については、「TOEIC Listening & Reading Test」および「TOEIC Speaking & Writing Tests」両テストのスコア（4 技能）を必須とします。TOEIC IP は利用不可。
- (*3) Academic Module に限ります。コンピューター版を含みます。
- (*4) CBT タイプおよび検定版に限ります。
- (*5) CBT、S-CBT、S-Interview を含みます。
- (*6) 個人成績表の「原本」または「原本から正しく複製されたものであることが出身学校によって証明されたもの」ではなく、「受験者マイページ」から確認できる個人成績表をプリントアウトしたものを提出する場合は、必ず原本を正しくプリントアウトしたことが出身学校によって原本証明されたものを提出してください。

入学検定料

35,000 円

振込用紙（本学志願票【様式 1】）に必要事項を記入し銀行窓口より「電信扱」で振り込んでください。

※ATM、ネットバンキングおよびゆうちょ銀行からの振込は不可。

※出願期間の前に入学検定料の振り込みを行っていただいても構いません。

いったん納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。ただし、以下の「入学検定料返還について」に該当する場合を除きます。

入学検定料返還について

以下の 1. 入学検定料返還請求事由のいずれかに該当し、かつ 2. 手続方法により請求し、受理された場合のみ入学検定料を返還します。

1. 入学検定料返還請求事由

- (1) 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった。
- (2) 入学検定料を納入し、出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。

2. 手続方法

返還を希望する場合は、本学入試課（Tel. 042-342-5120）に連絡してください。入学検定料返還申請書を送付しますので、以下の書類を2026年11月20日（金）（郵送必着）までに本学入試課宛に簡易書留で送付してください。

- (1) 入学検定料返還申請書（所定用紙に必要事項を記入）
- (2) 入学検定料振込領収書のコピー

3. 返還時期

2026年12月末（予定）

被災した志願者に対する入学検定料免除について

津田塾大学では、被災地の志願者に対して進学のをできる限り保障するため、被災の状況により入学検定料の免除措置をとることがあります。

入学検定料の免除措置を決定した場合には、本学公式Webサイト (<https://www.tsuda.ac.jp/>) を通じてお知らせしますので、確認してください。

選考方法

提出された書類をもとに、本学学芸学部多文化・国際協力学科の求める学生像を基準として審査します。

第 1 次選考結果発表

2026 年 10 月 3 日（土）

選考結果は郵送で通知します。合格者には、受験票を同封します。

【第2次選考（プレゼンテーション及び面接）】 第1次選考合格者に対して第2次選考を行います。

第2次選考についての詳細は第1次選考の合格通知に同封して通知します。

プレゼンテーション（大学でフィールドワークによって探究したい研究テーマ）

志望理由書において論じた、あなたが「大学でフィールドワークによって探究したい研究テーマ」について発表してください。そのために、フィールドワーク（観察や聞き取り）を実施し、それによって得られた資料やデータを用いてください。

※発表は、受験者が実際におこなったフィールドワークに基づいた内容にしてください。

※フィールドワークは、身近な事例を対象としてもかまいません。高校在学中の自由研究等の取り組みの内容を使用することも可能です。

※10分間の発表の後、20分間の面接を実施します（発表の内容に関する質疑応答を含む）。

※プレゼンテーションは、レジュメ（手書きもしくは印刷した文書）A4用紙2ページ以内の面接官用の配付資料のみ使用可能です。当日は、ご自身の物とは別に面接官への配付用として3部持参してください。配付資料には、写真や図表を挿入してもかまいません。なお、ご自身のレジュメは配付用レジュメと同じ内容の文書をご用意ください。ご自身のレジュメへの書き込みや、資料の追加等は認められません。

面接

面接では、志望理由書、プレゼンテーションをもとに本学での学修に関する希望、問題意識、将来への抱負について問います。

選考方法

第1次選考の提出書類及び第2次選考の成績による総合判定を行います。

試験日

2026年10月31日（土） ※集合時間等は第1次選考結果発表時に通知します。

試験会場

本学（小平キャンパス）

1. 試験会場案内図を当日正門脇の守衛所で受取ってください。
2. 試験日以前に試験会場の下見をすることはできません。ただし、建物内を除く敷地内の見学は可能です。

受験上の注意事項

1. 受験票は試験中必ず携帯してください。
2. 受験票を紛失した場合は、試験当日「身分証明書（生徒証、学生証、マイナンバーカード等）」を持参して、試験本部に申し出てください。
3. 受験者本人以外は大学構内に入ることはできませんので、あらかじめご了承ください。付添者用の控室は用意しておらず、構内への立ち入りもご遠慮いただいております。また、会場への車の乗り入れはできません。周辺道路の混雑や交通の妨げとなりますので、お車での送迎もお控えください。
4. 学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症対策に関する注意事項は、状況に応じて本学公式 Web サイトにてお知らせします。 <https://www.tsuda.ac.jp/>

入学試験実施に際しての対応について

入学試験の実施に際し、以下のような対応をとる場合がありますので、予めご了承ください。

1. 不可抗力による事故等について
大雪、地震、津波、台風、洪水等の自然災害または火災、停電、新型インフルエンザを含む感染症、

その他不可抗力による事故等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げ（試験開始時刻を繰り下げた場合、最終終了時刻も変更になること、また試験時間を確保するために休憩時間を調整することがあります）、試験の延期等の措置をとることがあります。ただし、それによって生じた受験者負担の費用、その他個人的損害について、本学はその責任を一切負いません。

2. 受験者への連絡について

上記1. の措置をとる場合の受験者への連絡は、基本的に本学公式Webサイト上で行います。

<https://www.tsuda.ac.jp/>

3. 感染症について

試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は、他の受験者や試験監督者等への感染の恐れがありますので、受験をお断りすることがあります。試験当日の体調管理については十分に注意してください。なお、上記により受験をお断りした場合でも、追試験などの措置、入学検定料の返還はいたしません。

4. その他の注意

不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、延期等の対応措置をとることがあります。ただし、このことに伴う受験者の個人的損害については、原則として本学は責任を負いません。

不正行為について

受験の際には、すべて監督者等の指示に従ってください。以下に該当する場合、不正行為とみなされます。

- 1) 出願の際に本学に提出した書類・資料等に偽造、虚偽の記載、剽窃が見つかった場合
- 2) 受験者以外の者が、受験者本人になりすまして試験を受けた場合
- 3) その他、試験の公平性を損なう行為をした場合

不正行為と認められた場合、それ以降の受験はできなくなり、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、入学検定料は返還しません。

不正行為の状況により、警察へ被害届を提出するなどの対応をとる場合があります。

合格発表

2026年11月6日(金)

合否結果は郵送（速達）で通知します。合格者には合格通知書及び入学手続書類を送付します。

合格発表日当日に届くように発送しますが、到着が翌日になる場合もあります。なお、合否に関する問い合わせには一切応じません。

入学手続

2026年11月20日(金)（消印有効）

上記期日までに「入学申込金（入学金相当額）」及び「学費その他の納入金」を振り込み、入学手続書類を郵送してください。

入学手続締切日後の手続は、一切認められませんので、注意してください。

入学前教育について

合格者には入学前課題等を用意しています。詳細は、合格者にご案内いたします。

学費・その他の納入金（予定）

2027年度入学者の入学金・学費(授業料・施設設備費)・その他の納入金は10月初旬に決定します。

〔学芸学部〕

(単位：円)

学 科	入学手続時納入		10月中納入	初年度合計
英語英文学科 国際関係学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 412,500	後期 412,500	825,000
	施 設 設 備 費	前期 137,500	後期 137,500	275,000
	計	750,000	550,000	1,300,000
多文化・国際協力学科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 440,000	後期 440,000	880,000
	施 設 設 備 費	前期 154,000	後期 154,000	308,000
	計	794,000	594,000	1,388,000
数 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 486,000	後期 486,000	972,000
	施 設 設 備 費	前期 164,000	後期 164,000	328,000
	計	850,000	650,000	1,500,000
情 報 科 学 科	入 学 金	200,000	—	200,000
	授 業 料	前期 490,000	後期 490,000	980,000
	施 設 設 備 費	前期 165,500	後期 165,500	331,000
	計	855,500	655,500	1,511,000

*次年度以降の学費（授業料・施設設備費）については次のとおりです。

授業料は次年度から毎年度 10,000 円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2028年度	835,000円	2029年度	845,000円	2030年度	855,000円
多文化・国際協力学科	2028年度	890,000円	2029年度	900,000円	2030年度	910,000円
数学科	2028年度	982,000円	2029年度	992,000円	2030年度	1,002,000円
情報科学科	2028年度	990,000円	2029年度	1,000,000円	2030年度	1,010,000円

施設設備費は次年度から毎年度 3,000 円増の漸増方式を適用します。

英語英文学科、国際関係学科	2028年度	278,000円	2029年度	281,000円	2030年度	284,000円
多文化・国際協力学科	2028年度	311,000円	2029年度	314,000円	2030年度	317,000円
数学科	2028年度	331,000円	2029年度	334,000円	2030年度	337,000円
情報科学科	2028年度	334,000円	2029年度	337,000円	2030年度	340,000円

*原則として、入学時に学修のためのノートパソコンが必要となります。指定された要件を満たすノートパソコンを各自でご用意ください。詳細は、合格者へお送りする入学手続要項でお知らせします。

その他の納入金について

①学生教育研究災害傷害保険

「学生教育研究災害傷害保険」（賠償責任保険付）は初年度のみ納入し、保険料は4年間を通じて4,010円です。校内や通学、また課外活動中の怪我、教育実習、正課のインターンシップやフィールドワーク中の賠償責任を補償範囲としており、全員加入を実施しています。なお、任意保険として「学研災付帯学生生活総合保険」もあります。

②一般社団法人津田塾大学同窓会費積立金

「津田塾大学同窓会費積立金」は50,000円（終身会費）です。初年度のみ納入し、その利子は奨学金として運用されています。

<③～⑥は、該当者のみ入学後にかかる費用となります。>

③教育職員免許状取得を希望する場合（英語英文学科、国際関係学科、数学科、情報科学科の学生のみ対象）

介護等体験費用11,000円、教育実習費11,000円（参考：2026年度）

④日本語教員養成課程修了を希望する場合（学芸学部の学生のみ対象）

日本語教員養成課程登録料3,000円、日本語教育実習費22,000円（参考：2026年度）

⑤英語英文学科の異文化コミュニケーション専攻（異文化コミュニケーションコース、Japan Studies in Englishコース）においては、国内外での学修・異文化体験を推奨します。その場合には、交通費、滞在費、保険料など、別途費用がかかりますが、すべて自己負担となります。

⑥多文化・国際協力学科に入学した場合

国内外で実施するフィールドワークの費用はすべて各自が負担します。費用は、滞在先、滞在期間によって異なります。国外でフィールドワークを行う場合には、交通費、滞在費の他、保険料も必要になります。なお、フィールドワークの場所(滞在先)については、指導教員と相談のうえ、学生の希望に沿って決めることとなります。

高等教育の修学支援新制度（多子世帯支援・理工農系支援を含む）の対応について

本学は、文部科学省より「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定を受けております。また本学数学科並びに情報科学科は理工農学系学部・学科の対象機関として登録されております。

本学においては、入学金や授業料等は納付期限までに一旦納入していただきます。減免対象者には所定の手続きを経て、入学後に減免相当額を還付いたします。

個人情報の取り扱いについて

本学では、「個人情報の保護に関する法律」に基づき、個人情報の取り扱いには十分な配慮をしております。今回、出願及び入学手続きにあたってお知らせいただいた氏名、住所、その他の個人情報は、入学試験実施（出願処理・試験実施）、合格発表、入学手続きと、これらに付随する事項を行うためのみに利用します。なお、出願受付、受験票の発送、合格通知書の発送などの業務を個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託することがあります。

また、入学手続き時にお知らせいただいた個人情報は「津田塾大学同窓会費積立金」に係る手続きのため一般社団法人津田塾大学同窓会に提供させていただきます。

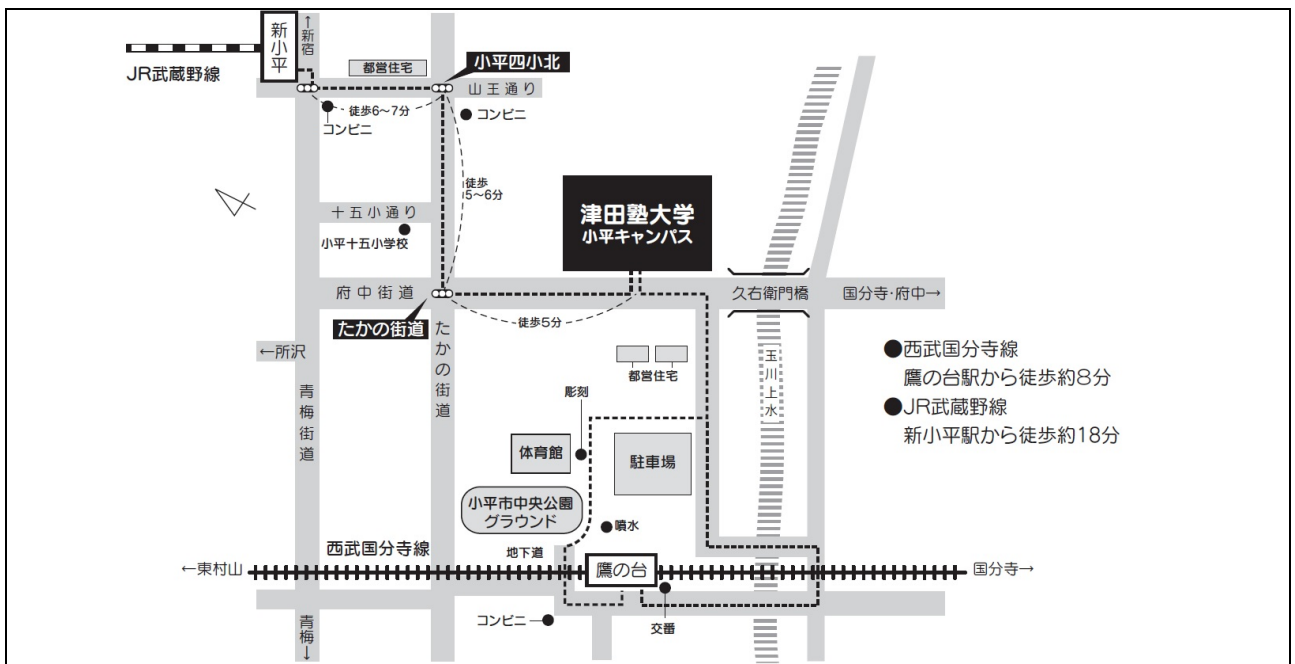
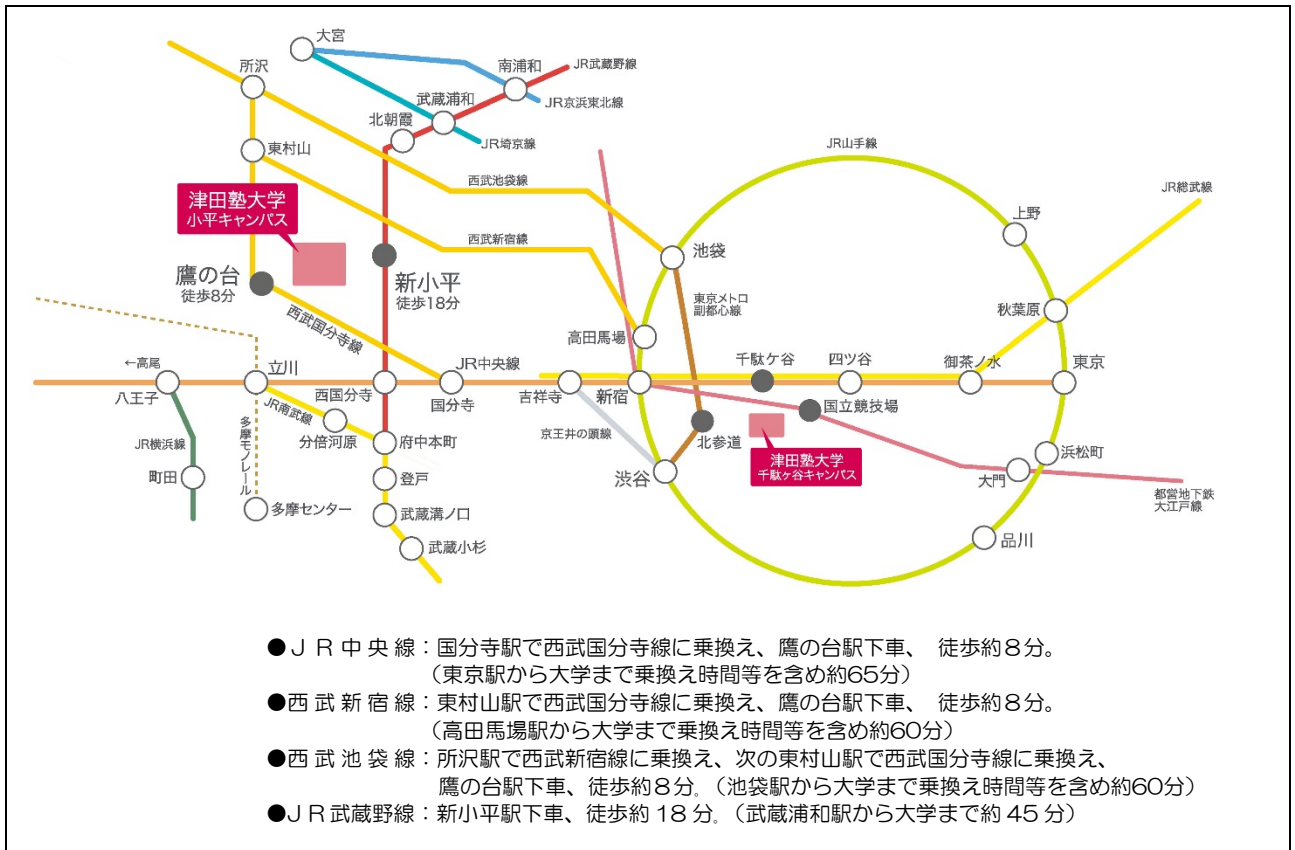
トランスジェンダー学生（性自認による女性）の出願について

津田塾大学では、2025年4月に入学する学生が受験する入学試験より、女子大学で学ぶことを希望するトランスジェンダー学生（性自認による女性）にすべての学部、大学院研究科にて受験資格を認めることといたしました。

詳細については本学公式 Web サイトをご確認ください。

本学公式 Web サイト：https://www.tsuda.ac.jp/admissions/exam_transgender.html

小平キャンパスへの交通案内



受験時の宿泊について

- ★本学では宿泊のご案内はいたしません。
 津田塾大学生協 (TEL. 042-343-7073) または旅行会社等に直接お問合せください。
- ★宿泊地は JR 中央線沿線 (新宿～八王子) か、西武新宿線の沿線が比較的便利です。

津田塾大学 入試課

〒187-8577 東京都小平市津田町2-1-1

TEL : 042-342-5120

Email : nyushi@tsuda.ac.jp

<https://www.tsuda.ac.jp/>